

蓮池まちづくり協議会

団体や地域の自慢したいこと

- ・ 不定期ではあるが、年に2から3回程開催している「蓮池町各種団体代表者との懇談会」において、まち協役員と一緒にになり団体が抱えている課題や蓮池町全体の活性化につながる諸問題について話し合っている。
- そのため、それぞれとの結束力が強く、お互いの協力体制も整っている。

コロナ禍が明けた今、考えていること・工夫していること

- ・ 蓮池公園を会場にしたイベントを考えている。
- 各種団体がそれぞれ工夫を凝らしたブースを設け、ステージでは演奏会等も開催し来場者に楽しんでもらう。

今後の展望や夢、目標など

今は 蓮池町内の各種団体と協力することで活動している けど
将来は地域の様々な企業とも連携 して
活動の幅を広げた元気のある蓮池まちづくりにし たい！！

【具体的に】

- ・ 町内の企業や子育て中の若い人たちと意見交換が出来る懇談会を開催したい。
- 今までにない取り組みを行うことで、新しい発想が生まれ「まちづくり」に興味を持たなかった人たちが参加することで蓮池の活性化につなげていきたい。

代表者

蓮池まちづくり協議会 会長 山口 泰夫

連絡先

蓮池公民館 住所：佐賀市蓮池町大字蓮池 6 番地 49 電話：97-0070

新栄まちづくり協議会

団体や地域の自慢したいこと

- ① 季節ごとに、鯉のぼり・七夕・イルミネーション・ほんげんぎょう・雛飾り等、校区民が楽しめる行事を公民館と協力して実施している。
- ② 新栄小学校と韓国トヒョン初等学校との交流を二十年にわたり続けている。
- ③ 秋祭りでは、子どもと大人が一緒になって校区内を巡回し、新栄浮立を披露している。



コロナ禍が明けた今、考えていること・工夫していること

- ① 各種行事を例年通り開催し、以前のように大勢の校区民に参加してもらいたい。
- ② 「孤独死のない新栄」を各種役員のみなさんの見守りで実施していきたい。

今後の展望や夢、目標など

今は 夢半ばです けど
地域の各種団体と協力 して
新栄のキャッチフレーズ「あいさつを交わすまち、誰もが躍動するまち、
健幸で安全安心のまち新栄」をつくっていききたい！！

【具体的に】

- ① 若年層を取り入れて、街の発展を進めたい。
- ② 色々な行事に参加者を多数つくり、元気な街をつくっていききたい。

代表者

新栄まちづくり協議会 会長 黒田 利人

連絡先

新栄公民館 住所：佐賀市鍋島町大字八戸 1285 番地 3 電話：23-4907

若楠まちづくり協議会

団体や地域の自慢したいこと

若楠校区の自慢！それは「スポーツと文化の町若楠」です。SAGA 国スポ・全障スポ 2024 のメイン会場となるサンライズパークと芸術や文化の催しが多く開催される佐賀市文化会館があります。若楠まちづくり協議会は、部会長を含む役員に恵まれています。毎月の役員会では、校区全体の流れを掌握し、月々の行事について活発な意見交換を行っています。「できない」ではなく「どうすればできるか」を前向きに検討し、難しい判断の中でも種々のイベントを実施してきました。

ふるさと納涼祭り



鹿児島国体
応援ツアー



ほんげんぎょう



コロナ禍が明けた今、考えていること・工夫していること

若楠まちづくり協議会や校区各団体の行事を、元の通常開催に戻そう！

コロナ禍であっても、規模縮小等の工夫をしながら行事を行ってきました。コロナ禍が明けた今、その歩みを止めることなく、元の通常開催に戻し「みんなが元気！住みよい若楠」の夢プランに向けて、楽しく、パワフルに活動しています。



今後の展望や夢、目標など

今は 役員の高齢化が進み、人材面で将来が心配だ けど

次世代を担う若手人材の交流懇談会を実施 して

若手人材と一緒に若楠校区を盛り上げていき たい！！

【具体的に】

若楠まちづくり協議会 地域活性化部会が中心となり、若手人材の発掘と交流の場として「若楠人財交流会」を計画しました。まずは、校区内の若手同士が顔見知りになることを目的としています。その後、先輩たちと交流を深め、若楠愛をさらに高め、一緒に若楠校区を盛り上げる仲間となってもらえることを期待しています。また、小学校・中学校のPTA役員が、子どもが卒業しても、地域の役について活躍していただけるよう呼びかけをしています。

代表者

若楠まちづくり協議会 会長 原武 継成

連絡先

若楠公民館 住所：佐賀市若楠二丁目 13 番 1 号 電話：31-6358

開成まちづくり協議会

団体や地域の自慢したいこと

☆子どもの出番が多いまち 開成☆

11月の「開成ライトファンタジー」は小学生スタッフ、12月の「中学星サンタ」と「クリスマスイベント」は各々中学生と小学生がスタッフとなり大活躍します。特に今年度16回目を迎えた「中学星サンタ」は、これまでにたくさんの子どもたちのもとへプレゼントと夢を運んでいきました。



ライトファンタジー点灯式の様子



中学星サンタ出発式の様子

コロナ禍が明けた今、考えていること・工夫していること

○協働して行う

これまで部会単独で行っていた事業なども、他の部会や各種団体と協働して開催することで、スタッフの人員や参加者数を増やすことができる。
(今年度の例:生活・環境部会と校区子ども会協働による「ろくろ体験」)

○既存の事業の見直し

コロナ禍を経て学んだこと(ITを使った連絡の取り方や感染症対策等)を活かし、無理のない範囲で、スムーズに行える事業展開も視野に入れていく。



ろくろ体験の様子
(小学生)

今後の展望や夢、目標など

今は まだまだまちづくりのことを知ってもらえていないかわからない けど
これからどんどんいろんな取り組みを発信 して
開成って、いつもキラキラしてるよね☆って言われたい!!

【活動の周知】「つながる開成」のQRコードシールを各部会、各種団体に配布し、会議資料、チラシ等に貼付してもらう。

【人材発掘】地域参加型のまちづくりを目指すため、世代間交流事業や、「ちょっとだけおうえんし隊」の募集を展開していく。

【広報活動】各事業の報告をこまめに発信する。「つながる開成(Web)」、「のびゆく開成」(広報紙)

ここからはじめる「人と人がつながる」コミュニティ
**つながる
開成**



代表者

開成まちづくり協議会 会長 副島 基司

連絡先

開成公民館 住所:佐賀市鍋島町大字森田 27 番地 4 電話:33-9581

諸富町まちづくり協議会

団体や地域の自慢したいこと

県境をつなぐ筑後川昇開橋は、国指定重要文化財で観光地としても知られています。

そこを起点とした佐賀線跡地に自転車道として整備された徐福サイクルロード沿線には、全国から集めた子供たちの絵画「ふるさとの絵」284枚を陶板にして飾っており、他県からの観光見どころとして役立っています。

各種団体との結束力のあるまち協では、3月に2000本の桜開花に合わせた徐福桜健康ウォーキング行事を実施しております。

今年3月の開催では、350名の参加があり、その活動は、校区内外から好評を得ています。

この他にも、子どもフェスタの開催、諸富町文化祭、老人クラブ大運動会などの多彩な行事を行っております。



徐福さくら健康ウォーキング



第19回子どもフェスタ



諸富町文化祭



老人クラブ大運動会

コロナ禍が明けた今、考えていること・工夫していること

よかところ諸富に、関心を持ってもらうよう

- ・組織構成を考えながら、地域の隅々まで活動が浸透するように体制を工夫していきたい。
- ・つながる諸富やまち協広報紙の内容の検討を図り、読みたい紙面づくりと、取り組み行事の周知に力を注いでいきたい。

今後の展望や夢、目標など

今は まちづくりの活動が地域住民に、十分浸透していない けど
様々な地域団体と連携を密に、まちづくり体制をきちんと して
人と人とのふれあいのある活動の輪を広めていき たい！！

【具体的に】

- ・役員会議や部会の定例会議の開催及び若い世代や女性参画がある環境づくりを図る。
- ・読みたい情報紙づくりと今何があるかわかりやすく発信し、まちづくりに関心を持ってもらい行事参加に繋がるよう呼び掛けていきたい。
- ・地域資源や人材活用、人材発掘等、幅広い意見を求め、新しい取り組みに繋げていきたい。
- ・校区の文化・伝統などの関心を深め、ふるさと諸富、の愛着心を高めていきたい。

代表者 諸富町まちづくり協議会 会長 井手 俊郎

連絡先 諸富町公民館 住所：佐賀市諸富町大字諸富津7番地 電話：47-4995

春日まちづくり協議会

団体や地域の自慢したいこと

◆春日の郷ふれあい祭◆ 作品 11/3 (金) ~19 (日) 浮立 11/18 (土) 祭 11/19 (日)

【浮立の紹介】



小学生～大人の稽古



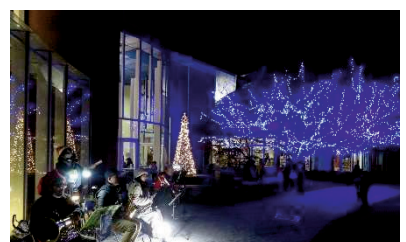
春日まちづくり協議会が中心となって、57年ぶりに浮立を復活させ、平成28年3月20日(月・祝)に初披露しました。

現在では、「春日の郷ふれあい祭」で、春日校区内5地区で披露しています。また、演者として小学1年生から80代の方、令和5年度には、女性の笛奏者も4名加わり伝統芸能を地域で継承しています。



舞台発表や大抽選会、こどもスタッフも協力した屋台などで校区民が楽しみました。

◆イルミネーション◆ 令和5年度 12/10 (日) 点灯式 令和6年1月末頃まで設置



まち協を中心に小中高校生と大人が協力して準備し、12月の点灯式から1月末まで設置しました

今後の展望や夢、目標など

人の和、地域の輪があり、楽しくいきいきと生活できるまち

- ◇高齢者が安心して生活できるまち
- ◇健康でいきいきと生活できるまち
- ◇伝統文化の復活と継承を通して、自慢と誇りの持てるまち、美しいまち
- ◇子どもから大人まで明るく安心して生活できるまち
- ◇子どもが成人しても、再び春日校区で暮らしたくなる魅力的なまち



つながる春日 検索

代表者 春日まちづくり協議会 会長 深川 優

連絡先 春日公民館 住所：佐賀市大和町大字尼寺 1875 番地 電話：62-3151

春日北まちづくり協議会

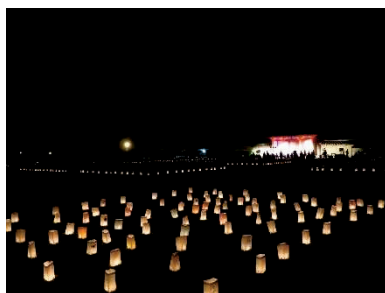
団体や地域の自慢したいこと

春日北まちづくり協議会は、「絆 ～つながり 支え愛 みんな笑顔の春日北～」をスローガンに「自然・文化部会」、「人のつながり部会」、「健康・福祉部会」、「子ども育成部会」、「安全・安心部会」の5つの部会活動をつうじて、豊かで住みよい地域づくりを目指して日々活動しています。

そのうちの主な取り組みとして、自然・文化部会が昨年 10 月に肥前国庁跡歴史公園で開催した「かすが北“ほのか” PROJECT 2023」を紹介します。

このイベントは“コロナ禍で暗い世の中を春日北から明るくしよう”と昨年度から開催したものでまだ不安が多いこの世の中を春日北から明るくしようという思いから今年も開催しました。

春日北小学校の北っこたちや地域の皆さんの願い事が書かれた 1,000 個の紙灯ろうを肥前国庁建物跡と南門周辺に灯しました。当日は佐賀市地域振興部文化財課主催の「肥前国庁跡南門ライトアップ&芸能祭」も開催され、響きわたる音楽とライトアップの明かり、そして地域の皆さんの願いがこもった温かみのある紙灯ろうのほのかな灯りが会場全体を幻想的な雰囲気に包みました。



コロナ禍が明けた今、考えていること・工夫をしていること

長引くコロナ禍で感染防止対策として対面での交流が著しく抑制される中、まちづくり協議会の活動も大きな変化を余儀なくされました。これからは対面での交流を軸に地域団体との繋がりを深め、地域活性化の向上に貢献できる取り組みを増やしていきます。

その地域活性化の足掛かりとして、今回子ども育成部会が毎年開催していた子ども縁日イベントの内容を拡充した「春日北 大人も子どもも一緒に楽しもう縁日」を昨年 12 月に開催しました。

当日は 700 名程の参加があり、スタンプラリー、ジュースなどの早飲み、お米・お菓子すくい、ボーリング、輪投げ、ビーズ・木工教室、販売コーナー、抽選会、ミニ花火大会、ペットボトルツリ一点灯式などを通じて、世代を超えた交流が生まれ、子どもと大人の笑顔が溢れ大きな笑い声に包まれた楽しいイベントになりました。

今後の展望や夢、目標など

今までは、コロナウイルス感染症の影響で地域のコミュニティ活動を自粛していたけれど、これからは、これまで我慢して疲弊していた地域の子どもや私たち大人を元気にするため、地域団体や学校、幼稚園、地元商店と関わり合いながら、世代を超えた活動を軸に楽しく住みたくなるまちを目指したい！！

代表者

春日北まちづくり協議会 会長 永原 秀文

連絡先

春日北公民館 住所：佐賀市大和町大字久池井 1756 番地 1 電話：62-8828

川上校区まちづくり協議会

団体や地域の自慢したいこと

1. **かわかみ凧あげ祭り <子どもから高齢者まで幅広い世代を対象・人と人とのつながり>**
(構成団体：まち協、自治会、女性部、川上小PTA、大和中PTA、体協、青少年育成、公民館)
まちづくり協議会他、各種団体が年間を通して、数多くの事業展開をする中、唯一互いの団体が協力体制を取りながらの事業として、かわかみ凧あげ祭りがあります。この事業は、校区内の身近にある地域の自然環境を活かした取組み（大空の新名所）として、毎年凧あげ祭りを開催しています。また、各種団体が川上校区の課題を共有することで、地域連携と活性化を促進することを目的としています。
2. **まちづくり協議会各部会の主な取組み**
 - ①介護予防講座（年間を通しての脳イキイキ・ストップロコモ・音楽サロン・元気アップ教室）
 - ②野菜作りと収穫を楽しむ家庭菜園教室、川上産大豆を使った味噌作り教室（各年2回開催）
 - ③ゆつつら～と川上フットパス（4コース設定で年4回開催、史跡、神社、仏閣、紅葉など）
 - ④子ども（小学4年～6年）川上峡カヌー体験、親子料理教室、
 - ⑤高齢者送迎サービス「かわかみ絆の会」通院や社会参加などのための移動手段の確保。
 - ⑥見守りを兼ねて独り住まいの高齢者にまち協（農業部会）育てたさつま芋のプレゼント。
 - ⑦農業部会で育てた旬の野菜提供（フードバンクさが）
 - ⑧みかんの木オーナー制の導入。高齢農家の労力軽減と校区外から人を呼び込むことで活性化。
3. **各団体の主な取組み（まち協、自主防災会、校区社協、民生・児童委員、女性部、公民館）**
 - ①高齢者一人世帯ふれあい会食会。（佐嘉にわか、歌、踊りなどの出し物他）
 - ②川上小の子どもが地域の人と昔遊び。（けん玉・ダルマ落とし・お手玉・コマ回し・羽根つき他）
 - ③子どもの安全と見守りを兼ねて（川上小児童とお守り隊との対面式）
 - ④災害時の高齢者等要避難者支援名簿と住宅地図作成により避難行動に繋げる体制づくり。
 - ⑤地震・豪雨災害を想定した訓練（毎年実地訓練2回、出前講座1回、炊き出し訓練1回）



R5.1 凧あげ祭り



R5.7 嘉瀬川でのカヌー体験



R5.10 フットパス(平野の浮立)



R5.10 みかんの木オーナー

コロナ禍が明けた今、考えていること・工夫していること

令和5年5月にコロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが「5類」へ移行したことで、これまで取り組んできたことに一層磨きをかけ、少しずつでも前に進めていきたいと思っている。
また、事業の見直しや、時代の流れに即した新規事業の取組みなど、社会環境の変化に柔軟に対応していきたいと考えている。

今後の展望や夢、目標など

1. よかやっこ大和

現在、子育てが一段落した若いお母さんやお父さん達で結成されている、よかやっこ大和（川上、春日、春日北の大和中PTA 0B 17名）。3月31日に川上公民館周辺をメインに、よかやっこ桜まつりの開催のために十数回に亘って会議を重ねられている。お花見をメインとしてステージイベントや露店など盛りだくさんの催しを計画中。地域のつながりを大切にしていきたいとの思いで結成されたそうで、これから地域のイベントなどにも積極的に参加していただければと期待をしているところです。

代表者

川上校区まちづくり協議会 会長 池田 博司

連絡先

川上校区公民館 住所：佐賀市大和町大字川上 3203 番地 1 電話：62-5775

松梅まちづくり協議会

団体や地域の自慢したいこと

《松梅かかし村》

100体のかかしと6匹の動物が訪れる人を出迎えた。9月頃から各団体や有志一同で作成し、昭和の田園風景や昔ながらの子どもの遊びの姿を再現した。ここで暮らす喜びを感じる取り組みにしたいという思いで準備した。訪れた方には、移住するなら松梅だと思ってもらいたい。

テレビや新聞の取材等もあり多くの見学者が訪れ、「すごいね。」「よくできているね。」と言った言葉に喜びと満足感を味わった。



《松梅さいこうフェス》

30~40代のメンバーが中心となり、「松梅こどもフリマ」を開催した。『地域住民の交流』『子どもたちの進路選択のきっかけ』『地域で経済を回す』を目的に開催した初めてのイベント事業であったが大成功であった。引き続き若者が活動しやすい環境をつくり、今後につなげていきたい。



コロナ禍が明けた今、考えていること・工夫していること

コロナ禍のことは考えていない。

今後の展望や夢、目標など

今は 大変充実した活動やイベントを行なっている けど
校区住民がまち協の活動に参加しやすく して
更なる発展につなげていき たい！！

【具体的に】

- 今年初めて若者の企画でイベントを開催した。今後も継続して若者がまち協に多数参加できるようにしていきたい。
- 佐賀市で一番人口が少ない校区で高齢化が進んでいるため、イベント事業に関しては、校区民にまち協の活動を知ってもらい、一緒に運営していく流れをつくってきたい。

代表者

松梅まちづくり協議会 会長 岡城 守

連絡先

松梅公民館 住所：佐賀市大和町大字松瀬 2530 番地 1 電話：64-2041

富士まちづくり協議会

団体や地域の自慢したいこと

◇ まち協設立記念公演

『ピアノカの魔術師』上演

令和3年に設立した、まちづくり協議会の記念公演として、町内の保育園、小学生を対象に、生の舞台の楽しさや感動を共有し、一緒に踊ったりして、おおいに盛り上がり、大変楽しい鑑賞会となった。



◇ ゆるゆる広報部の活動

共催：富士公民館



ゆるゆる広報部では、富士まちづくり協議会の活動や富士町内のイベント等を町民や関係者に発信をし、富士町の魅力や楽しさを伝える活動をしています。又、富士町を紹介したい人が自由に集まり、自由な意見の中から富士まちづくり協議会ならではの活動や広報のあり方を考える活動も行っています。

（1）大学生のアイデアから生まれた「みどり祭り」

▶小学生の頃、サマーキャンプで飲んだ「パセリジュース」を再現し、パセリを使って富士町を活性化できないか。

（2）構成員でなくてもライターOK！「つながる富士」

▶富士町を紹介したい人が自由に集まり情報を発信します。2ヶ月に一度開催するライター会議では、投稿のスキルを学んだり新たな活動について話し合ったりします。

（3）佐賀県1位の生産量「富士町産パセリ」を使ったレシピ勉強会

▶パセリ生産者の協力を得て「富士町産パセリ」を使ったレシピ勉強会を行っています。商品化も視野に入れて新たなレシピを開発しています。



今後の展望や夢、目標など

◇ お山の暮らし見学会&交流会を開催

空き家バンク事業で、移住を希望される方に先輩移住者のおうちや仕事を見学し、山の暮らしを体験してもらい、親切なおもてなしをいただいた。

夕方からの焼肉会・カレーパーティーでは、参加者と移住者との交流を深め、富士町に住んでみたいと思っていただくことを願った。

2021年に、築百年以上の古民家を購入し、移住された、マーティンさん、流暢な日本語と気さくな人柄で、地元の人からも愛され、温泉が大好きで、再生可能エネルギーやお家のリフォーム、果樹栽培などに一生懸命なお方です。



代表者 富士まちづくり協議会 会長 吉浦 明

連絡先 富士公民館 住所：佐賀市富士町大字古湯 2624 番地 電話：58-2882

南川副まちづくり協議会

団体や地域の自慢したいこと

【3月】コロナで休止していた『あつまろう祭』を4年ぶりに復活し、行事の少ない時期の賑わいづくりに貢献出来ました。

【10月】300万本のコスモスが心を癒す『佐賀空港コスモスマつり』は、昨年に引き続きコスモスマルシェも併せて開催され、期間中6万人を超える来園者で大盛況でした。



その他、環境美化活動として『河川清掃』。健康づくりを目指して『健康ウオーク』。子どもたちに地域の自然と歴史を教える『さるく会』。歴史と伝統で絆を深めるために『海童神社秋祭り子ども浮立』など。これらの活動を通して、地域と世代間を繋ぎ、より良いまちづくりに取り組んでいます。



コロナ禍が明けた今、考えていること・工夫していること

- ・コロナ禍を経験した今、以前と全く同じ形ではなく取り組みの進化を意識しています。
- ・コロナに限らず、感染症のリスクやイベント中の怪我など、主催者として考えねばならない、リスクマネジメントを協議会会員全員の共通認識と捉えています。

今後の展望や夢、目標など

今は、4部門の会員が発案・企画などを行っている けど
今後は、所属団体等にとらわれず、会員の改選・増員をして
地域コミュニティーをまち全体で考え、実践して行き たい！！

【具体的に】

- ・子育て世代（PTA等）と連携し、継承すべき地域の歴史・特に川副の成り立ち（干拓史）を子どもに伝えるための講座や教室を開催し、子どもと同時に親世代にも伝えたい。
- ・これまで地域行事に参加していなかった人たちに興味を持ってもらうために、南川副のDX推進に取り組み、若い世代に興味を持ってもらい、組織の若返りや人材発掘につなげたい。

代表者

南川副まちづくり協議会 会長 副島 利孝

連絡先

南川副公民館 住所：佐賀市川副町大字鹿江 422 番地 1 電話：45-8919

西川副まちづくり協議会

団体や地域の自慢したいこと

1. きずな祭

地域の絆・交流・活力部会を中心に、6つの部会が連携、協力し合って、毎年3月の第2日曜日に開催。各ブースでの模擬店など物品販売や川副中学校吹奏楽部、キッズチアダンス、ハンドベルサークルなどイベント盛りだくさんの内容です。

祭の最後を実施するお楽しみ抽選会は、お米、海苔、きゅうり、なす、イチゴ、大豆など地域の特産品を生産者や提供者を紹介しながらプレゼントする一大イベントです。

2. 農業体験学習の支援活動

毎年、西川副小学校の児童の農業体験を支援しています。1年生はさつまいも、2年生はじゃがいも、4年生は大豆を栽培し、収穫の時には子どもたちの大きな歓声があがります。特に4年生は、収穫した大豆を茹でて枝豆にして試食したり、豆腐作りをしたり、きずな祭で販売をしたりと、年間を通じた活動となっています。



コロナ禍が明けた今、考えていること・工夫していること

ウィズコロナの時代、室内イベントではマスクの着用と手指消毒を続けながら、飲食の提供については緩和していきたい。(例 健康教室、きずな祭、枝豆の試食など)

今後の展望や夢、目標など

今は 後継者の育成が課題だ けど
イベント参加者から人材を育成 して
「未来へはばたくまち 西川副」を実現し たい！！

【具体的に】

西川副まちづくり協議会が発足して10年が経過し、後継者育成が最大の課題となっている。発足時から役員の顔ぶれがほとんど変わらない。構成員を増やすためにも、イベント毎に参加者の中から人材を育成しなければならない。役員、部会長の役割は大きい。

代表者

西川副まちづくり協議会 会長 坂田 元秀

連絡先

西川副公民館 住所：佐賀市川副町大字西古賀 260 番地 1 電話：45-1478

博愛の里中川副まちづくり協議会

団体や地域の自慢したいこと

私たち「博愛の里中川副まちづくり協議会」は、5部会がそれぞれに地域色豊かな行事に取り組んでいます。

又、各部は、自治会、校区社会福祉協議会、食生活改善推進委員会、校区老人クラブ、小中学校のPTAと手を取り合って協働で行事を行っています。

今年度に取り組んだ主な行事を紹介します。

新春三重津カルタ大会（1月）



歴史探訪ウォーキング（毎月一回）



戦争の体験談集の発行



世界遺産（三重津海軍所跡）



佐野常民の博愛精神の伝承（佐野祭）



ふれあいレクリエーション大会



コロナ禍が明けた今、考えていること・工夫していること

昨年9月に立ち上げた自主防災会で避難訓練を行う。8月末に盆踊り大会開催予定。

今後の展望や夢、目標など

中川副では各部署でそれぞれ行事を行っているが、より良く絆を深める為に呼名を会長、部長などと呼ばないで全員上下関係なく「さん」づけで呼び合い絆をいっそう深めたい。

代表者

博愛の里中川副まちづくり協議会 会長 江口 善己

連絡先

中川副公民館 住所：佐賀市川副町大字早津江 27 番地 1 電話：45-4173

大詫間まちづくり協議会

団体や地域の自慢したいこと

○九州最大のツバメのねぐら～

大詫間には、毎年夏の終わりになると南方への渡りを前にしたツバメが一斉に集まってきます。夕方になり日が傾くと河川敷のアシ（ヨシ）原は徐々にツバメの鳴き声で騒がしくなり、なんと最大2万羽ものツバメが「ねぐら入り」します。今年も県内外から多くの方がこのねぐら入りを見ようとやってきて、双眼鏡をのぞきながら大きな歓声を上げておられました。

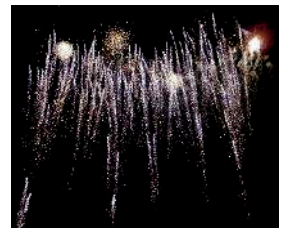


コロナ禍が明けた今、考えていること・工夫していること

○地域挙げての「夏祭り」を復活したい

昨年夏、まち協、公民館、PTA が発起人となり、夕涼み会を開催しました。射的、ヨーヨーすくい、かき氷、フランクフルトなどの出店があって、舞台を囲んで盆踊り、最後は打ち上げ花火があり、500人ほどの人出でにぎわいました。コロナ禍で密集や飲食が制限され、人々の交流が薄れかけていましたが、多くの方から「よかったねー、またやって」との声がありました。

本格的な夏祭りの開催には多くのスタッフ、資金、そして準備期間が必要ですが、地域最大の交流イベントに育て上げられたらいいなと思っています。



今後の展望や夢、目標など

今は まち協のイベントに参加してもらっている けど
主催者と参加者の区別をなく して
みんなが主役で、運営もして楽しむまちづくり団体にしたい！！

【具体的に】

- 1 もっと広報に力を入れて、幅広い層の参加者が増えるようにしたい。
- 2 イベントの開催では、簡単な運営スタッフ業務を担ってくれる人を、その都度募集したい。
- 3 参加・応援の意識を高めるためにも、地域からの寄付や賛助金がいただけるようにしたい。

代表者

大詫間まちづくり協議会 会長 加茂 龍二郎

連絡先

大詫間公民館 住所：佐賀市川副町大字大詫間 560 番地 1 電話：45-4480

東与賀まちづくり協議会

団体や地域の自慢したいこと

「ひがさす」広場で「夕暮れコンサート」を開催

東与賀まちづくり協議会「地域の活性化部会」では、毎年9月に地域の魅力を発信する事業として、東よか干潟ビジターセンター「ひがさす」広場で「夕暮れコンサート」を開催しています。このコンサートはラムサール条約湿地に登録された「東よか干潟」を広く知ってもらうとともに、干潟の保護と地域の活性化を促進するために開催しているもので、今年で8回目となりました。

演奏は毎年、佐賀県音楽協会会長・佐賀県打楽器協会会長の吉原敏郎氏ほかの皆さんにお願いしています。なじみの曲や懐かしい曲の演奏、リズム遊び、楽器の紹介など、来場者と一緒に楽しめるプログラムになっています。このほか、同部会では毎年2月に地域の自然とふれあい、活気あるまちづくりを推進するため、凧あげ大会を実施しています。

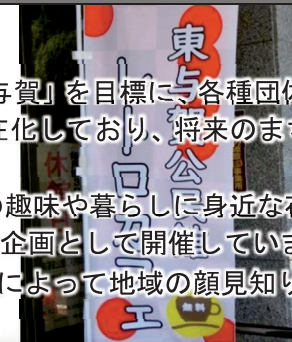
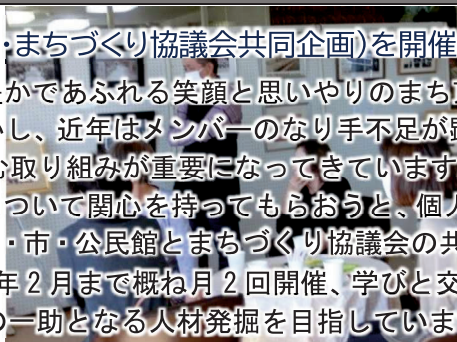


コロナ禍が明けた今、考えていること・工夫していること

課題解決支援講座(県・市・公民館・まちづくり協議会共同企画)を開催中

東与賀まちづくり協議会は「自然豊かであふれる笑顔と思いやりのまち東与賀」を目標に各種団体とともに活動を展開しています。しかし、近年はメンバーのなり手不足が顕在化しており、将来のまちづくりのためにも地域への愛着を育む取り組みが重要になってきています。

そこで、多くの住民にまちづくりについて関心を持ってもらおうと、個人の趣味や暮らしに身近な存在の「写真」をテーマとした講座を県・市・公民館とまちづくり協議会の共同企画として開催しています。講座は令和5年10月から令和6年2月まで概ね月2回開催、学びと交流によって地域の顔見知りを広げる機会を提供し、まちづくりの一助となる人材発掘を目指しています。



今後の展望や夢、目標など

今は 鹿児島県出水市が日本最大のツルの越冬地だ けど
ツルが集中する出水市での鳥の伝染病のリスクを減らして
東与賀をツルの越冬地にし たい！！



デコイ設置のよう

【具体的に】 東与賀をツルの越冬地に

大陸から日本に渡るツルの越冬地を鹿児島県出水市から東与賀の圃場に分散させようと昨年10月29日、日本生態系協会、日本野鳥の会佐賀県支部と地域住民が協力して圃場にツルのデコイ（模型）を設置しました。毎年1万羽以上のツルが飛来している出水市での鳥の伝染病流行のリスクを減らすのが目的です。県内では、2003年から伊万里市長浜干拓でツル分散計画が実施されていましたが、ツル同士の縄張り争いなどで越冬地としての定着が難しく、19年に伊万里市が事業を廃止していました。

東与賀町は大陸と出水市とを結ぶルート上にあり、ここ数年ツルが飛来したとの情報が寄せられていました。東与賀は水田が広く複数のツルの群れが縄張りを確保でき、また、冬期は圃場に水を張って雑草を防ぐ環境配慮型の農業が行われており、水辺で睡眠をとるツルの生態を考慮するとこの誘引計画に適しています。今回デコイを設置した場所は、当まちづくり協議会の会員の圃場でもあり、今後、まちづくり協議会としてもツルの飛来定着に協力していきたいと考えています。

代表者

東与賀まちづくり協議会 会長 富吉 宣仁

連絡先

東与賀公民館 住所：佐賀市東与賀町大字田中 423 番地 1 電話：45-0375

久保田まちづくり協議会

団体や地域の自慢したいこと♪

1. 毎年、町内各団体（21団体）の年間行事予定を集約し、予定表を作成しています。町内で何がいつあるのか一目瞭然です。年度当初に町内全戸配布しています。
2. 「久保田まちづくり協議会だより」を毎月発行し全戸に配布しています。今月で通算123号の発行となりました。地域の情報紙となっています。
3. 外出支援事業である『さるこうカー』を運行しています。6年が経過しました。外出弱者にとってなくてはならないものとして定着しています。運営は、全てボランティアです。運転手の方へは、少額の費用弁償のみです！
4. 有明海再生を願い、「さが水ものがたり館」と組んで、毎年、有明海に竹立てを行い、牡蠣礁造成に取り組んでいます。牡蠣も大きくなり、牡蠣礁も出来つつあります。県からも牡蠣礁復活の成果が出ていると応援メッセージをいただいています。
5. 毎日、児童生徒の見守り活動を実施しています。登校時には、交差点での声掛けパトロール、下校時には青色パトロールの巡回です。月二回の夜間パトロールも実施しています。久保田駅に防犯カメラ・駐輪場には『鍵をかけましょう』の看板を設置しています。
6. 『精霊流し』を嘉瀬川河川敷で開催しています。市内では久保田だけになりました。
7. 毎年実施している親子釣り大会、花づくり教室は参加制限するほどの人気イベントです。
8. 認定子ども園や保育園で餅つき会を実施し、園児たちに大人気です♪



年間行事予定表



まちづくり協議会だより



有明海再生 牡蠣礁造成

今後の展望や夢、目標など♡

- ★各団体の活動を引き続き支援
- ★人材の発掘

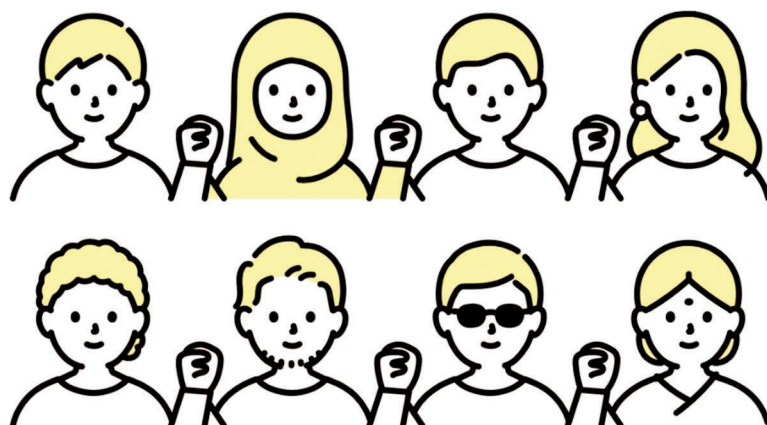
- ★現行活動の維持・充実
- ★住みよい地域への寄与

代表者 久保田まちづくり協議会 会長 久野英徳

連絡先 久保田町大字新田3313-3 ☎68-3130

活動の紹介

市民活動団体





企業や NPO 等の得意なこと（活動内容など）

愛未来は、1997 年 佐賀生まれの国際協力団体です

I フェアトレードの普及推進

- ・フェアトレードフェスタの開催
- ・世界フェアトレードデー(5月第2土曜日)の取組
- ・フェアトレードタウンの取組



II スリランカとの友好交流と支援活動

- ・スリランカ友好交流訪問
- ・農村女性の自立支援
- ・スリランカカレー料理教室の開催



III パラオとの友好交流と支援活動

- ・パラオ友好交流訪問
- ・健康づくり支援(佐賀大学医学部と協力)
- ・農業技術支援
- ・パラオ生活文化体験村づくり支援



まちづくり協議会・地域の団体と一緒にやりたい活動

フェアトレード
あなたの小さな行動がまちを、世界を変えます

フェアトレードとは、公平な取引を行うことで、
貧困のない**フェアな社会の実現**をめざす取り組みです

フェアトレードは、誰でも気軽にできる買い物を
通した SDGs の実践行動です

世界中のつくる人・つかう人が笑顔になれる
フェアトレードの輪を佐賀でひろげましょう!



【連絡先】

- ・団体名：特定非営利活動法人愛未来
- ・代表者：理事長 竹下敦子
- ・住所：佐賀市久保田町大字久保田 86 番地 1
- ・電話：090-2583-4716
- ・メールアドレス：npo.aimirai@gmail.com
- ・ホームページ：https://aimirai.jimdo.com



ホームページ



youtube

NPO法人おせっかい工房咲風里

市民活動団体

企業やNPO等の得意なこと（活動内容など）

「おせっかい工房 咲風里（さぶり）」では、こころの健康に問題がある人、こころの健康に関心がある成人を対象に、個人の心理・社会面を捉えたトータルな支援を目指しています。

この3年間のコロナの影響を振り返ってみると、今まで考えもしなかったような生活や働き方が求められるようになりました。私たちの取り巻く環境は常に大きく変化し、先を予測できないことが次々と起こる時代になっています。このような環境の変化に対応しストレスを感じた場合でも、上手にストレスに対処する力が必要とされています。

今年度は佐賀県地域自殺対策強化事業令和5年度補助金にて、「マインドフルネスの実践法」リーフレットと、一般財団法人佐賀銀行社会福祉基金令和5年度事業助成金にて「働き方と休み方の工夫」冊子を作成しました。



まちづくり協議会・地域の団体と一緒にやりたい活動

今年度も佐賀市市民活動プラザ「市民活動プラザフェスタ」で無料相談会とマインドフルネス体験を実施いたしました。体験された方には、「背筋が伸びてすっきりした」「心が落ち着いた」などのご意見をいただきました。今年作成したリーフレットと冊子は佐賀県内の公共施設などにも配布しておりますので、より多くの方に体験し、効果を感じていただきたいです。



リーフレットや冊子、講座の予約のお問い合わせなどについては、おせっかい工房咲風里のホームページやフェイスブックでも案内しています。

また、咲風里では、悩み事や困り事を気軽に相談できる場の提供として KOKORO の相談室を開催しています。場所は佐賀市市民活動プラザ、毎月1回、奇数月は第2火曜日の13時から16時、偶数月は第4金曜日の18時から21時に開催しております。完全予約制ですので、お問い合わせは下記の連絡先までよろしくお願いいたします。

連絡先



お問い合わせ／NPO法人 おせっかい工房 咲風里(さぶり)

TEL 080-3373-0077 FAX 0942-55-4664 メール sapuri-kouza@outlook.jp
URL <http://npo-sapuri.com> <https://www.facebook.com/npo.sapuri>



かち PICA

企業や NPO 等の得意なこと (活動内容など)

精神医療利用当事者自助グループです。障害のあるなしは問いません。

PICAPICA はカササギの学名です。それぞれが自分には価値があると感じられるようにと語りあいなどの活動をしています。一時的に通っている方でも、ずっと通院されている方でも日常のこと、仕事のことや悩み、恋愛のこと、子育てのことなど自由に話しています。

かたるかい・べんきょうするかい・うんどうするかい・うえぶ茶会
(zoom にて全国から参加) を各月一回、開催しています。

安心できる環境でなんでも語り合うことや、就業のための勉強
や軽い運動などを行うことで、こころや生活の回復、QOL の向
上につなげています。



まちづくり協議会・地域の団体と一緒にやりたい活動

私たちの活動があることを、地域の方やお知り合いなどへご紹介をお願いします。

将来的には、地域の見回りや声掛け、自治会などの PC 作業代行などを事業化していきたいと思えます。



連絡先 かち PICA Web ページ <https://picapica-1.jimdosite.com/>

メール: katipicasaga@gmail.com

TEL: 080-5246-5030 (代表の個人携帯)



SAGA アウトドアガイドクラブ

企業や NPO 等の得意なこと（活動内容など）

登山などの自然体験活動のサポートしてる NPO 法人です。

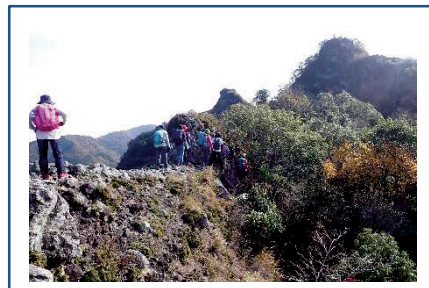
仲間がない、一人では不安。でも色々体験たいしと思って方向けに、初心者中心の登山が主な活動です。日本国内どここの山でガイドできますよ。

その他各種教室や講演なども行っています。

旅行会社へのガイド派遣及び企画運営の経験は豊富です。

企業に新人講習も行った実績もあります。

現在は佐賀県から委託を受けて九州自然歩道の巡視活動を行っています。ガイドされたい人、したい人どちらも募集中なので気軽に声をかけてください。



写真は国東の岩場を登山

まちづくり協議会・地域の団体と一緒にやりたい活動

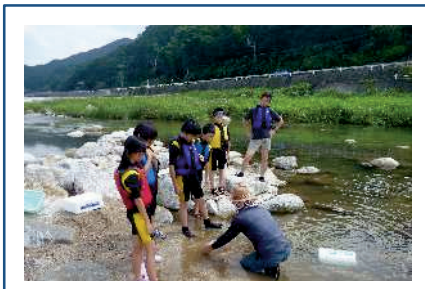
まちづくりの方と、アウトドア教室などを行えたらいいかと。

キャンプ教室・アウトドアクッキング・子供向け自然体験活動・初心者向けの登山教室等教室のノウハウや装備等は、私達がしっかり持っているので、場所の提供と宣伝すなわち教室参加者の募集をお願いできればと考えています。

収益事業（登山教室など）とボランティア事業（子供の自然体験活動等）としっかり分けて行わないと赤字の垂れ流しでは続かないのでその点ご理解下さい。

しっかりリスクを認識して協働して出来ることを期待してる。

写真は洞窟探検と川遊びで投網の体験の様子



連絡先

佐賀県佐賀市金立町金立 1197-352

0952-37-0577 (FAX 兼用)

E-mail : sod@guide-club.jp

URL : <http://guide-club.jp/>

検索 : アウトドアガイドクラブ

特定非営利活動法人佐賀県 CSO 推進機構

佐賀市市民活動プラザ指定管理者

企業や NPO 等の得意なこと（活動内容など）

～自立した CSO・行政・企業がつながり、ささえあう佐賀づくり～

地域の NPO・ボランティア活動の支援施設に代わるポータルサイト「さが CSO ポータル」の運営管理を含む佐賀県の事業「ボランティア活動・CSO 活動支援に関する情報発信委託業務」の受託、主に佐賀市の CSO（市民社会組織※）の支援を行う施設「佐賀市市民活動プラザ」の指定管理、そして、県内外問わず佐賀県に関わる方々の案内、相談対応等を行う佐賀県庁新行政棟 1 階「行政の窓口」の運營業務を行っています。



- ・ 2月9日（金）19:00～21:00 | 人材育成研修（こなす力）「知っておきたい団体の事業承継と終活～NPO 法人の変更・解散手続きに学ぶ～」(Zoom 併用) ※チラシ参照
- ・ 2月17日（土）13:30～15:00 | 交流ゼミナール第5回「犯罪被害者等現状と求められる支援～犯罪被害者の声に耳を傾け、寄り添う～」(Zoom 併用・Facebook ライブ配信) ※チラシ参照

※CSO の例：NPO 法人、市民活動団体、まちづくり協議会、子ども会、老人会、PTA など

まちづくり協議会・地域の団体と一緒にやりたい活動

～IT によるシェアの力で普段の活動を楽に、そして効率的に～

市民活動・地域活動の再活性化ならびに生活環境の変化著しい若い世代も参画しやすい活動環境づくりを目的に、IT 活用やデジタル化による新たな活動様式の獲得および定着のための支援活動を行っています。例えば、イベントでオンラインを取り入れることは、移動の時間短縮だけでなく、さまざまな不自由やリスクに対し情報を保障する点で「参加のバリアフリー」と捉えています。

支援の例：活用のための講習会開催(ChatGPTや画像生成AI、Instagram、チラシデザインCanva、クラウドファンディング)、ハイブリッド開催・ライブ配信の出張支援、事例紹介、各種相談



「活動をはじめたい」、「活動で困っている」、「IT を活用したい」など、お気軽にご相談ください▼

連絡先①

特定非営利活動法人 佐賀県 CSO 推進機構
(代表理事：野口 淳子)

佐賀市呉服元町 2-24 呉服元町ビル 10 号

TEL：080-4282-8061（法人携帯）

E-mail：cso.sprt@min-nano.org

ホームページのアクセスリンク▶



連絡先②

佐賀市市民活動プラザ

(プラザ長：秋山 翔太郎)

佐賀市白山二丁目 1-12 佐賀商エビル 7 階

TEL：0952-40-2002

E-mail：plaza@tsunasaga.jp

ホームページのアクセスリンク▶



特定非営利活動法人日本防災士会佐賀県支部 佐賀県防災士会

企業やNPO等の得意なこと（活動内容など）

●防災士会とは

- ・防災士とは自助・共助・協働を原則として、社会の様々な場で防災力を高める活動が期待され、そのための十分な意識と一定の知識・技能を習得したことを、日本防災士機構が認めた人。
- ・平成22年佐賀県防災士会設立 現在7つの防災活動推進プロジェクトチームを作り活動中。

●得意な活動内容

- ・平常時の活動⇒防災講演会、防災訓練や自主防災活動支援（防災情報活用方法、災害時トイレ、AED体験、応急手当方法、非常食の種類・調理、非常持出袋、車中避難の方法など）
- ・防災教育⇒防災授業、防災ゲーム（大雨ワークショップ、クロスロードゲームなど）
- ・災害時活動⇒避難所運営支援、自主防災組織や自治会等地域の応急対応や活動支援
- ・災害発生後の復旧活動⇒ボランティアセンター活動支援、被災地支援ボランティア活動



防災講演会



防災展示体験



AED救命体験

まちづくり協議会・地域の団体と一緒にやりたい活動

地域の自治会や自主防災組織、まちづくり協議会等と連携した防災活動を行い、個人の自助力や近所、地域の身近にいる人同士が助け合う近助力、共助力の向上など、地域全体の防災力向上に寄与したい。

（例）

- ・自主防災組織やまちづくり協議会、校区社会福祉協議会等と連携し、地域住民のための防災講座を開催したい。
- ・自主防災組織やまちづくり協議会と連携し、防災訓練や防災研修会、講習会等を開催したい。
- ・自治会やまちづくり協議会主催の各種イベント（夏まつりなど）で防災展示を行いたい。



校区社協研修会



地域防災講座



校区防災訓練



まなびいフェスタ



NHK佐賀夏まつり

連絡先 特定非営利活動法人日本防災士会佐賀県支部 佐賀県防災士会 代表 溝上良雄
佐賀県防災士会事務局 〒840-0864 佐賀県佐賀市嘉瀬町萩野110
TEL: 090-1349-6387 (溝上) e-mail: m3kan4on18@b1.bunbun.ne.jp (溝上)

佐賀市観光ボランティアガイド

企業や NPO 等の得意なこと（活動内容など）

佐賀市観光ボランティアガイドは、佐賀城下ひなまつりのボランティアガイドとして 2002 年度から始まり、2009 年にボランティア組織を立ち上げて活動を行っています。毎年開催される「佐賀城下ひなまつり」と年間を通して歴史民俗館や賢人コース、神社めぐりコースなどをメインにガイドを行っています。

2019 年から 11 月の創立記念日に合わせて「ともに歩こうさがん町」と題して、佐賀市民対象で町歩きも行っています。毎月 1 回の定例会では活動報告や活動計画を話し合います。その中で、ガイドコースを歩いてみる勉強会や県内を中心とした現地研修会へ全員参加を目指して出かけていき、共通理解を図りながら学び、「チーム観ボラ」として連携を深めています。

また、日頃の感謝を込めて佐賀市歴史民俗館周辺の清掃活動も行っています。



まちづくり協議会・地域の団体と一緒にやりたい活動

地域の研修や県外からのお客様などのおもてなしに連携することで佐賀のことをより知っていただき佐賀の認識を深めていただけるのではないかと考えます。それぞれ違う分野の団体との連携で魅力的な佐賀になることは全体の向上に繋がると思います。

ぜひ、ともに歩きましょう。

そして、「佐賀はな～んもなか」から脱出して、みんなで佐賀の魅力の向上を目指しましょう。会員も随時募集しています。一緒に佐賀の歴史を学びましょう。



連絡先 一般社団法人 佐賀市観光協会 担当：川崎

〒840-0801 佐賀市駅前中央 1 丁目 4 番 17 号 コムボックス佐賀駅前 1 階 SAGAMADO 店

☎ 0952-37-7489

Mail info@sagabai.com